



町内3つの中学校で少年式

～ 瀬戸中学校 ～
(関連記事 2 ページ)

生涯学習だより

ふれあい

いかた

毎月第2日曜日は「家庭の日」です。

3月のテーマ“努力をたたえ合おう”

(実践方法)

- 入学、進学、就職を家族そろって明るい希望を持たせよう。
- 就職する子供と、職場における心がまえについて話し合おう。

平成23年
3月1日発行

No.71

3月号

夢に向かって努力!

伊方町で、今年少年式を迎えるのは三崎中学校24名、瀬戸中学校21名、伊方中学校53名のあわせて98名。各学校で式典と記念行事が行われました。



2月4日、町内3つの中学校で少年式が行われました。少年式とは、昔の「元服」に当たるもので、14歳のお祝いとして愛媛県内の中学校では昭和39年から行われています。14歳になると少年法の対象となり、自分の行動に責任を持たなければいけないので「自覚」「立志」「健康」の3つを目標に定めています。

瀬戸中学校の式典では、井上校長から「勉強、スポーツは今やらないでいつやる。一人の人間として志を持って目標に向かって努力してください。」と激励の言葉が送られました。木嶋PTA会長からは、「人との出会いはあいさつからはじまる。感謝の気持ちを育てる人になってください。」とあいさつがありました。生徒を代表して3年阿部治貴くんからは、「目標を明確にして達成するための努力をしてください。みなさんが夢にたどり着くことを願っています。」とお祝いの言葉を述べました。誓いのことばでは、2年生全員がステージに上がり一人ひとりが条幅に書きとめた四字熟語を披露し、その文字に込めた決意を発表しました。

伊方中学校では、在校生を代表して3年谷村温樹くんから「決意は実行しないと意味がない。」と前置きした上で「努力したものが成功するとは限らない。しかし、努力しないとないものはじまらない。」とそれぞれが掲げた決意を達成するための言葉が送られました。



一人ひとりが大きな声で決意発表
(伊方中)



「少年の日の歌」をみんなで元気よく歌う
(三崎中)



決意を四字熟語に込めて発表
(瀬戸中)

瀬戸中学校は親子でスタート



三崎中学校はグループでスタート



ようやく堀切大橋。のこりあと半分。頑張ろう！（伊方中）

式典の後、三崎・瀬戸中学校では記念行事が行われました。伊方中学校は、1月25日に記念行事は実施しました。三崎フェリー乗り場から伊方中学校までの、およそ30kmの記念ウォークに生徒全員と保護者14名が挑戦しました。途中、チェックポイントでの保護者のサポート隊に支えられながらゴールを目指しました。

三崎中学校は、大久展望台から佐田岬灯台駐車場の24kmを歩きました。今回の少年式を迎える生徒数に比べて、残念ながら1名の欠席者により生徒23名が6つの班に分かれて2分おきにスタート。班の中で助け合いながらゴールを目指しました。

瀬戸中学校は、佐田岬灯台駐車場をスタートし、瀬戸中学校をゴールとするおよそ34kmに生徒全員と保護者25名が挑戦しました。出発前に親子で記念写真を撮影した後、親子で記念ウォークに出発です。この日の天気と同じように、晴れ晴れとしたいい顔でゴールに向かって足を進めていました。午後5時まえ、一番最初にゴールにたどり着いたのは生徒の岩井くんでした。その後、周囲が暗くなった午後6時30分までの間に全員が完歩できました。ゴールでは、保護者の方たちが準備した豚汁をいただき冷えた体を温め、全員がやり遂げた充実感に浸っていました。



ゴールテープには2年生53名の寄せ書きが書かれている（伊方中）



大久展望台を元気にスタート（三崎中）



出発前の記念撮影（瀬戸中）

大浜チームが優勝！

第40回伊方駅伝大会



沿道の声援を受けて

2月13日、田之浦集会所横をスタートし、大浜折り返し、伊方中学校をゴールとする18.94kmを走る伊方駅伝大会が開催され、24チームが参加しました。この大会は、1部は地域単位の年齢別構成によるチームで10人でタスキを繋ぎます。2部は、小学校5年生以上の愛好者によるチームで男子は5人、女子は7人のチームで走ります。

この日は、前日の強風とは打って変わって穏やかな駅伝日和となりました。二見小学校体育館での開会式の後、森教育委員長のピストルの合図で一斉にスタートと叫びだしたところですが、フライングのご愛嬌。このおかげで選手のみなさんはリラックスでき、再度のピストルの合図で一斉にスタート。沿道の応援を力に変え、一本のタスキに思いを込めて繋いでいきました。



伊方中バスケット部1区から2区へのタスキリレー

1部は、大浜チームが5年連続2位の殻を破り優勝。2位には、湊浦チームが入りました。また、1部2区では昨年同じ区間で大会タイ記録を出した大浜矢野吉男さんが大会新記録を出す快走を見せてくれました。

部	順位	チーム名	記録
1部	優勝	大浜	1:12:12
	2位	湊浦	1:12:46
	3位	畑	1:15:03
2部男子	優勝	伊方中バスケット部A	1:09:14
	2位	伊方中野球部A	1:10:16
	3位	伊方サービス	1:10:43
2部女子	優勝	伊方中バスケット部	1:19:53
	2位	伊方中バレー部	1:29:00
	3位	伊方中プラスバンド部	1:42:07



2部男子優勝の伊方中バスケット部A



1部優勝の大浜チーム



講師のらくさぶろう先生



天候が心配される中、成人講座実施

積雪のため開催が危ぶまれた成人講座は、1月30日に予定どおり実施しました。雪の影響で若干開会時間を遅らせましたが、75名の参加によりはじめて合同厄払い神事を行いました。

記念講演では、南海放送ラジオの朝の顔であるらくさぶろうさんに、「一日一笑 自分のために」と題して講演をしていただきました。らくさぶろうさんの生い立ちからこれまでの身の回りのこと、新婚当時や夫婦の話、93歳のおばあちゃんの話などをおもしろおかしく紹介していただきました。参加者の気がそれてきたかと思えば、イントネーションとか言葉の強弱等のみごとな話術により気を振り向かせていました。日常の中で、おもしろいことを自分で探して一日一回は笑っていただきたいとアドバイスがありました。また、サラリーマン川柳の紹介もありました。「プロポーズ あの日に帰って 断りたい」「朝出した 粗大ゴミが夜帰る」会場はみなさんの笑い声で一杯になり、中には涙を出しながら笑う方も見られました。

懇親会では、アカペラでマイクを持って歌い出す飛び入り等もあり、みなさん和やかな雰囲気楽しんでいました。

伊方町特別支援教育支援員募集

障害のある児童・生徒一人一人のニーズに応じた適切な教育を実施するためのサポートを充実し、豊かな学校生活を過ごせることを目的として、支援員を募集いたします。

1. 応募要件

- ①地方公務員法第16条各号のいずれにも該当しない者
- ②普通自動車免許を取得している者
- ③特別支援教育の充実に意欲のある者

※小学校等の教諭免許状取得者は優先的に採用される場合があります。

2. 募集職種及び採用予定人員等

採用予定人員	3名
期 間	採用から平成24年3月31日(継続あり)
勤 務 先	教育委員会が指定する学校
勤務形態	伊方町学校管理規則第4条で定める休業日以外の日で学校長が必要と認めた時間(1日8時間以内)
職務内容	伊方町立学校特別支援教育支援員設置要綱第3条第1項に定められた職務(障害を持つ児童・生徒への支援)
賃 金 等	伊方町の単純な労務に雇用される職員の給与に関する規程に準じて支給(職員に準じて通勤

手当あり)

社会保険及び労災保険等に加入予定

そ の 他 今回採用にならなくても、登録しておくが必要な期間に応じて雇用される場合があります。
※登録された方が必ず雇用されるとは限りません

3. 試験日 平成23年3月下旬

試験会場 伊方町役場 3階 会議室他

試験内容 書類審査及び面接

4. 申し込み方法等

①必要書類

- ・履歴書及び普通自動車運転免許証の写し
- ・介護に関する資格や教員免許等の写し(資格を持っている場合)

②申込期限 平成23年3月15日(火)

③申込先・問い合わせ先

〒796-0301 西宇和郡伊方町湊浦1993番地 1

伊方町教育委員会学校教育課(役場3階)

電話 0894-38-2660

5. 採用通知等

①採用通知 平成23年3月下旬

②採用年月日 平成23年4月1日以降



この日は、暴風雪波浪警報が発令され風の影響により自動車や飛行機等の交通機

認めあい 支えあおう

梅原司平コンサート



関も少し乱れていたようで、そのあたりをはじめに梅原さんがおもしろく紹介してくれました。歌の中には、観客も手拍子をしったりいっしょに歌ったり、また歌の合間のお話にはいろいろ考えさせられることや、思わず笑ってしまう内容もありました。8曲目の「人として」は小学生や高校生、一般の方およそ50名がステージに上がり梅原さんと一緒に歌いました。アンコール、サイン会にもこたえていただき、梅原さんと過ごした2時間の中でなにか心に響くものを参加者の皆さんが受け取ったことと思います。

中央公民館からのお知らせ

作品展示のお知らせ

中央公民館1階ロビーにて、パッチワーク・ペン習字教室作品・かまぼこ板の絵・俳句・川柳を展示していますので、是非ご覧下さい。



中央公民館が実施した「いかたおえ かきひろば春・夏」の作品から次の2点が入賞しました。

○第16回 全国「かまぼこ板の絵」

展覧会(ギャラリーしろかわ)

佳作

伊方小学校4年 井上歩未さん

○第18回

「世界こども図画コンテスト」

国内優良賞

伊方小学校1年 菊池加偉くん

公民館だより

「二見公民館まつり開催!!」

町見公民館

今年で27回目を迎える二見公民館まつりが2月6日(日)、二見小学校体育館を主会場に二見小学校学芸会と並行して開催されました。

当日は、早朝より八幡浜漁協町見支所女性部の新鮮なイワシ等の海の幸即売、亀ヶ池生活研究協議会のふるさとの味即売があり、ホカホカのお好み焼きは寒さで冷えたお客さんの身体を温め、大変好評でした。

作品展示コーナーでは、保育所園児のお絵かき、小・中学生の書道や絵画、各団体の手芸、生け花、短歌、俳句、絵手紙等、たくさん作品が体育館半分のスペースいっぱいに表示され、作品出展をされた方からは、作品作りで苦労された事を、観覧されている方に話されている場面もありました。

午後からの「芸能発表のつどい」ではお三方の飛び入りを含む14曲の舞踊・歌謡が披露されました。潮来(いたこ)の伊太郎さんが、旅の途中、このまつりに訪れたという設定で、三度笠に着物姿で登場し、潮来笠を熱唱し、「二見のみなさん、お久し



ひょっここ踊り



旅の途中の伊太郎さん

ぶりでござんす。まだまだ寒い日が続きますが、風邪など召せぬよう元気でがんばっておくませう。とマイクパフォーマンスをすると、会場はドッと沸きました。出演されたみなさんは日ごろの練習の成果を存分に発揮され、最後はもちまきで、和やかな雰囲気包まれつつ、まつりはお開きとなりました。

出展、即売、出演および協力してくださったみなさん、ありがとうございました。

雪山スキー教室

瀬戸公民館

2月5日(土)小田スキー場にて、瀬戸公民館の恒例行事となっている雪山スキー教室を開催。瀬戸地域の小学5・6年生の希望者13名が参加しました。

当日のスキー場は、日差しも暖かく、遠くの景色もはっきりと見える絶好のコンディションで、約120cmの雪が積雪しているグレンデには、多くの家族連れや、団体の方で賑わっていました。

スキー教室は、経験者と初心者の方に別れて、午前と午後2時間ずつ、地元インストラクターの方の指導で行われました。

経験者の班は、始めからリフトに乗っての講習です。久しぶりのスキーでちょっと不安げな子もいましたが、コツを思い出すと、すぐに慣れた様子で、いろ



いろなスキー技術に挑戦していました。初心者の班は、平らに近いグレンデの場所で、スキー板の履き方から、転び方、歩く練習など基礎をみっちり指導してもらいました。最初は減速できず止まることもできなくて転倒していた子も、お昼前には、だいぶコツを掴んできたよう方向転換などにも挑戦していました。

お昼は、毎年恒例?のカレーです。慣れないスキーで疲れたせいかわ、みなおなかペコペコだったようで、おかわりをする子がたくさんいました。

午後からは、初心者の子どもたちもリフトに乗って、経験者の班と同様、何度もグレンデを滑っていきました。帰る頃にはスキー板を平行に揃え勢い良く滑り、軽快にターンをする子もいました。きつと午後からの2時間は、楽しくてアツという間に時間が過ぎたことと思います。

今年のスキー教室も、全員怪我もなく無事に終えることが出来ました。お天気にも恵まれて充分に雪山でのスキーを楽しむことが出来たと思います。

岬路を40チームのランナーが駆け巡る！ 第43回 三崎駅伝大会

三崎 公民館

第43回三崎駅伝大会が1月23日(日)に開催され、参加40チームが全長15.6kmを5区間(じギナード区間)で競い合いました。

この日は、寒さも和らぎ絶好の駅伝日和に恵まれ、佐田岬小学校前を一齐に元氣よくスタートし、それぞれの中継所ではチームの仲間の思いと汗を乗せたタスキをつないでいました。

また、沿道では応援に駆けつけた沢山の人が、顔を真っ赤にして頑張る選手たちに惜しめない声援が送られ、日頃の体力づくりの鍛錬や声援の後押しもあつてか今大会では3部門7区間において区間新記録やチーム新記録が誕生しました。



タスキにみんなの思いをのせ軽快にスタート

総合成績表

※(新)は新記録

部	順位	チーム名	記録
中学男子の部	優勝	三崎中3年	58分22秒
	準優勝	三中卓球部A	1時間00分05秒
中学女子の部	優勝	三崎中女子バレー部A	1時間08分20秒
	準優勝	三崎中ソフトテニスA	1時間10分12秒
高校男子の部	優勝	三崎高校軟式野球部A	54分41秒
	準優勝	三崎高校サッカー部	56分43秒
一般の部	優勝	2929B	(新) 55分19秒
	準優勝	Goレンジャー	1時間04分34秒
	3位	ディーブ・インパクト	1時間06分16秒
女子の部	優勝	三崎高校女子バレーボール部	1時間12分23秒
	準優勝	三崎高校女子卓球部+α	1時間13分54秒
ビギナーの部	優勝	SIXファイターズ	1時間04分59秒
	準優勝	しらなみランナース	1時間05分04秒

区間新記録

部	区	氏名(チーム名)	記録
一般の部	2区	片岡雄太(2929B)	13分41秒
中学女子の部	5区	中島仁 誉(三崎中ソフトテニスA)	15分58秒
ビギナーの部	1区	三好教彦(農協)	8分28秒
ビギナーの部	2区	佐々木 翔(しらなみランナース)	6分22秒
ビギナーの部	3区	清家慎太郎(商工会青年部)	9分18秒
ビギナーの部	4区	中川祐二(ティーチャーズ)	8分42秒
ビギナーの部	5区	玉里将平(SIXファイターズ)	9分19秒

平成23年 壮年講座・新春交歓会

中央・町見 公民館

1月10日(日)伊方町壮年会員を対象とした壮年講座が、同会主催の新春交歓会と合わせて、中央公民館において開催されました。

これは、新たな年の始まりに自己の目標を定め、豊かで住みよい地域発展のため行われているもので、今年は伊方町商工会の協力を得て、講師に地域振興コミュニケーションの西沢依里子先生をお迎えし、「地域活性化は自分たちでテーマにご講演を頂きました。



西沢先生は、テレビ和歌山のリポーターをされていた経験から、地域活性化の原点に触れ様々な町づくりの体験を活かして全国各地での講演を積極的に

行っております。

講演の内容については「不便の魅力」や「都会が失ってしまったものと出会う町」、「オンラインワンの伊方の商品づくり」のほか、前日に撮られた町内の写真を映し、そこに住んでいる人には分からない外から見た町の良いところ、アピールできるところについてなどの講話がありました。

また講演中には、地域活性化のため耳を傾けている参加者に質問を投げかけ意見を求める場面もあり、会場が一体となった講座となりました。

壮年層は伊方町の中核を担う年齢ということもあり、これからも様々な分野においての講座を開催したいと考えております。





学 校 通 信



楽しかった学芸会

水ヶ浦小学校

直前になり、空は雪模様。心配した学芸会が1月30日(日)に予定通り実施されました。時折雪がちらつく、今年一番の冷え込みでしたが、老いも若きもたくさん集まっていたきました。開演中は、児童たちの巧みな演技で、体育館は笑いがあふれていました。1年生の劇は、「じゅげむ」です。長い名前「じゅげむ」を連呼して、落ちを楽しませてくれました。2・3年生の劇は「どろぼう学校」で、ミュージカルのように演じていました。



4・5年生の劇は「まぬけ村」で、テンポ良い息のあった演技で観客を魅了しました。6年生の劇は、「絵姿女房」で、5人が少ないながらもそれぞれの個性を出し切って演技しました。また、教職員も「しらゆきひめその2」を演技し、終始盛り上がりました。学芸会が終了し、帰宅する方から、「楽しかった」、「(学芸会は)いいですねえ」等の言葉を聞き、地域の楽しみとなつていく学芸会を、今後も盛り上げていきたいと思いました。



笑顔輝く、学芸会

二名津小学校

1月30日、粉雪が舞う中、児童の家族はもとより大勢の地域の方々にも御来場いただき、学芸会を行いました。

昔話の大好きな1・2年生は、「ねずみの嫁入り」を、一人が何役もこなして所せましとかけまわり、元氣一杯演じました。3・4年生は「ヒーロー伝」で、戦後日本の子どもたちを元気づけ、今では世界中の子どもたちに愛されているドラマやアニメのヒーローを物語仕立てにして演じました。3年生から6年生による器楽演奏は、組曲「展覧会の絵」より、「キエフの大門」です。難しい曲ですが、毎日の練習を積み重ね、見事に演奏することができました。5年生は、子どもたちが話し合ったことをもとに現代風の劇「友情」を創作し、観客は絆の深い友情が生まれていく様子に心を強く揺り動かされました。6年生は、役になりきるだけでなく、大道具から小道具、背景画など自分たちで協力して作成して「猫の島のお客様」の劇を創り上げました。小学校生活最後の舞台にふさわしく一人一人が堂々と演技をするこ

とができ、子どもたちの心が伝わってきました。

1年生から6年生までバラエティに富んだ内容で、子どもたち一人一人が自分の役割・台詞に責任をもって取り組むことができました。学芸会後の、「みんなで気持ちを合わせてやることができましたし、今まで練習してきたことを全部出し切ることができてよかったです。」という、自信に満ちた生き生きとした表情に子どもたちの成長を感じた一日でした。





図書館だより



3月 図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

○…おはなし会
 ■…休館日

利用案内

- 開館日時／火曜日～日曜日 午前9時30分～午後6時
- 休館日／毎週月曜日（月曜日が祝日のときはその翌日も）
祝日、月末図書整理日、年末年始、蔵書点検日

■瀬戸・三崎地域の方へ

瀬戸町民センター・三崎公民館で図書と雑誌の返却ができます。

伊方町立図書館（伊方町生涯学習センター2階）

愛媛県西宇和郡伊方町湊浦1992番地

TEL(0894)38-0607

新着図書

●オススメ



・にんじんさんとじゃかじゃかじゃん

／長野ヒデ子 作・絵

〈内容紹介〉

にんじんさん、きゅうりさん、かぼちゃさん、さといもさんが、ころころにこにこと、やってきた。みんなが入っていったいどころはおおにぎわいのじゃかじゃかじゃん。いったい何をしているんだろう？



・ガラシャ

／宮木 あや子 著

〈内容紹介〉

嫁いだ後にはじめての恋を知った玉子はガラシャと名を改め、異国の神に祈り続ける。彼女の侍女・糸もまた、報われぬ愛に身をこがし…。叶わぬ恋が紡ぐ戦国純愛絵巻。



・秘密のスイーツ

／林 真理子 著

〈内容紹介〉

神社の石の柱にあいた穴から、66年前の戦争中の日本を生きる雪子へお菓子を送る理沙。小さなタイムトンネルで結ばれた2人の友情を描く。



・完全なる首長竜の日

／乾 緑郎 著

〈内容紹介〉

自殺未遂により植物状態となった弟の過去を探る少女漫画家の淳美。ある日、謎の女性からかかってきた電話によって、淳美の周囲で不可思議な出来事が起こりはじめ…

《児童》

- ききみみずきん ／いもとようこ 作・絵
- おかあさんは、なにしてるの？／ドロシー・マリノ 作・絵、
こみやゆう 訳
- いつか、きっと ／ティエリ・ルナン 文、
オリヴィエ・タレック 絵、平岡敦 訳
- ドラゴンはキャプテン／茂市久美子 作、とよたかずひこ 絵
- リンリンちゃんとワンゴ天才発明会社／丘紫真璃 作、MICA 絵
- ジャミーラの青いスカーフ／ルクサナ・カーン 作、もりうちすみこ 訳

ほか

《一般》

- この人から受け継ぐもの／井上 ひさし 著
- KAGEROU ／齋藤 智裕 著
- エルニーニョ ／中島 京子 著
- キリハラキリコ ／紺野 キリフキ 著
- あの頃の誰か ／東野 圭吾 著
- 無縁社会の正体 ／橋本 俊詔 著
- 花粉症がラクになる ／赤城 智美、吉村 史郎 著
- きことわ ／朝吹 真理子 著
- 苦役列車 ／西村 賢太 著

ほか

《お知らせ》

図書利用カードをお持ちの方で、進学・就職等により4月以降に転居予定のある方は、変更登録をしていただきますようお願いいたします。変更の手続きは、図書館カウンターでできます。



ピプスおはなし会のごあんない

～ 今月のおはなし会 ～

日 時：12日(土)・26日(土) 午後2時～

場 所：図書館 おはなしコーナー

対 象 者：未就学児童および親子

小学校低学年児童



絵本や紙芝居などたのしいおはなしを聞かせてくれるよ。みんな、きてね！

ライフアップ講座のご案内 (第5回)

日頃の運動不足を感じていませんか? ストレスを溜めていませんか?

みんなで楽しく身体を動かし、心地良い汗をかきませんか?

ご参加をお待ちしております。

日 時 平成23年3月9日(水) 18:30~20:00
場 所 伊方町生涯学習センター 5階 多目的ホール
内 容 「ニュースポーツを楽しもう!」

軽スポーツ、レクリエーション・スポーツともいわれるニュースポーツで楽しく身体を動かしましょう。

今回は「KIN-BALL(キンボール)」を予定しています。

(直径122cm、重さ約1kgの大玉を使った楽しいゲームです。)

講 師 田 丸 与七郎 先生
(伊方町体育指導委員会委員長)

定 員 20名程度

受 講 料 無 料

持参品等 運動のできる服装
水、お茶、スポーツドリンクなど

申込方法 3月7日(月)までに住所・氏名・電話番号を生涯学習課へご連絡ください。

伊方町教育委員会 生涯学習課

TEL 38-2661 FAX 38-1179



伊方スポーツセンターでようい

初心者スイム

内 容 泳げなくても安心、基本からゆっくり指導いたします。また、今よりもスムーズに泳ぎたい等のアドバイスも致します。

期 間 3月11・18・25日(金曜日)

料 金 施設使用料のみ 200円/(1回)

時 間 19:00~19:30

対 象 一般成人男女(健康な方に限る)



水中ウォーキング教室のご案内

【期 間】 3月9日・23日(第2、第4水曜日)

【時 間】 ①10:00~10:40 ②13:10~13:50

【対象者】 一般成人男女

【場 所】 伊方スポーツセンター2階プール

【受講料】 施設使用料のみ 200円/(1回)

【持ち物】 水泳道具

【内 容】 ただ歩くだけじゃつまらない! 腰痛、肩こり予防や、二の腕、ウエスト、太もも、お尻シェイプなどに効果的なウォーキングをご紹介します。また、リラクゼーション効果のある、浮きポールも使用します。



なお、くわしいお問い合わせは、下記にご連絡ください。

伊方スポーツセンター ☎38-1100

☎38-0776

児遊館より

ティッシュケースを作しましょう!

3月19日(土) 午後2時から、ティッシュケースを作しましょう!

参加される方は当日時間までに、3階児遊館にお越し下さい。

参加費: 無料

映画上映会のご案内

3月12日(土) 3階児遊館にて映画上映会を行います。

室内が狭く、人数に限りがありますので早めにお越しください。

場 所 児遊館内 集会室

作 品 名 どうぶつ宝島

上映時間 1回目 10:00~11:18

2回目 15:00~16:18



【お問い合わせ】

伊方町生涯学習センター内 児遊館 38-0211(内線856)

文化財を

火災から守る

1月26日、文化財防火デーにあわせて、二名津の二名神社で文化財模倣火災訓練が行われました。文化財はかけがえのない郷土の歴史と文化の結晶です。私たち一人一人の心がけで、大切に守り伝えたいものです。



関連企画・スライド講演会

「アコウ樹とかけがえのない仲間たち(仮称)」

日 時・3月5日(土) 18時～20時

会 場・三崎公民館4階会議室

講 師・水本孝志さん
(佐田岬半島生物研究舎)

「三崎のアコウ」天然記念物指定90周年記念企画展

大きなアコウ樹の下で
— 共存したい佐田岬半島の宝物 —

平成23年 3月3日(木)～5月8日(日)

大正10年3月3日、「三崎村アコウ樹」が、当時の内務省から国の天然記念物に指定されました。90年目の節目を迎えた今年、佐田岬半島のシンボルとなったこのアコウ樹の価値をもう一度わたしたちみんなでたどりましょう。



町見郷土館から

◆ 今月のきょうどかん ◆

2011年 3月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

■＝おやすみ □＝夜スライド上映

TEL・FAX 39-0241
(不在の場合) 38-2661 生涯学習課
開館時間 9:30～16:30
休 館 月曜日ほか

佐田岬民俗ノート 70

川永田の大草履

年明けから早春にかけて、町内各地で大きな蔓草履を作る行事が行われています。高知県西部から愛媛県中予・南予地方にかけて点々と伝承されている行事ですが、伊方町内では20地区で26点もの大草履が毎年作られています。稲作地帯でなく蔓

が自前で入手できない地域でありながら、この伝承密度の濃さは、愛媛県内でも随一ではないでしょうか。そんな伝承地のひとつ、川永田では、今年は1月21日に朝8時から「大草履作り」が行われました。コミニティ

センター横の選果場(昔の公会堂跡地)に正副区長



川永田のネンブツハジメ (2011年1月21日撮影)

さんや老人会有志を中心に20数人集まり、昨年の草履を回収したり、今年の薪藁をたたいて柔らかくしたり、各家に配る御札を刷ったりと、忙しそうです。

草履に添えられるオベンとよぶ藁包みには、赤飯の俵型おむすび4個と、悪いものが来ても固くて歯が立たないと降参するように石を入れるそうです。2

mほどもあるタブノキの枝を削って面取りし、お寺の和尚さんに願文を書いてもらったヒヤクマンベンのトウバも準備できました。

二つの大草履が出来ると、オコシンドーとよぶ地区のお堂に運んで、草履の周りで大数珠を回してネンブツを唱えます。この行事をネンブツハジメといい、これが済まない年明けに葬式があっても鉦をたたいてはいけないそうです。その後正副区長さんの二人で大草履を地区の東西端に立てると、オコシンドーでは、ご婦人方が準備してくださった豆腐・酢の物・刺身などで皆が宴を開きます。帰りにオベンとーにも入れた俵型の赤飯おむすび2個ずつ頂いて行事は無事終了。

今年も地域の安寧を願ったオオヒト様の大草履が地域を東西からほつこり挟んで、近づいて来る春を待ちます。

調査協力・川永田地区のみなさん

先月号の狛犬の答えは、①井野浦・②串・③松・④明神・⑤正野・⑥与修でした。

思いをつなげて

三崎中学校 3年 阿部 美香

私は中学2年生の時、「おるづるの旅プロジェクト」というものに参加しました。このプロジェクトは、たくさんの人にもっと戦争のことや平和のことを知ってもらいたい、という思いで立ち上げました。

私が戦争のことについてよく考えるようになったのは、プロジェクトを立ち上げる少し前に行った広島での平和学習があったからです。資料館へ行ったり、戦争を体験した人から話を聞いたりしました。資料館には、ぼろぼろになった服、形見として親が残っていた子どもの爪、焼けてつながったら本の瓶などたくさん原爆の跡があり、今自分がどれほど幸せなのかを思い知らされるものばかりでした。たくさんの中、黒焦げの弁当箱がありました。「しげる君の弁当」です。しげる君は自分が作った野菜を初めて収穫し、お母さんに弁当

につめてもらい出かけました。しかし、出かけた先で原爆にあい、その弁当を食べることのないまま亡くなってしまったそうです。私たちは、実際に再現されたしげる君の弁当を食べました。今みたいに、

ぜいたくからあげや卵焼きが入っているわけではありません。それなのに、初めて収穫した野菜で愛情込めて作ってくれたお母さんの弁当を食べられなかったしげる君。その気持ちを考えると、とても悲しい気持ちになり、親に感謝する気持ちを忘れないようにしよう、と思いました。黒焦げになった自分の息子の弁当を見つけたお母さんはどんな気持ちだったのでしょうか。戦争の苦しみを味わったことのない私にとって、その気持ちは一生わかないものかもしれません。

私たちは、ずっと戦争のことを話せないでいるそうです。考えると、当時の光景を思い出し震えが止まらないそうです、今でも「自分は被爆者だ」と他人に言えず隠し生きている人がたくさんいると聞きました。そんな中、「こんな悲劇をくり返さないために」と私たちに戦争の話をしてくださったのは岡田さんという方です。岡田さんは子どもの頃、被爆されました。被爆されたその日、いつも通りお姉さんが「行ってきます。」と言い、岡田さんも「行ってらっしゃい。」と返しました。しかし、その日から何十年経った今でも、お姉さんの「だいま。」という声を聞いていないと岡田さんは言っていました。「だいま。」おかげで「は」この家でも、どの国でも必ず言っていると思います。私の家でも言っています。それがどれほど幸せなのか、考えたこともありませんでした。それだけではありません。岡田さんは夕日が怖いそうです。夕日の赤色や光で、被爆したあの日のことを思い出されるそうです。これはきっと岡田さんだけが思っている

ことではないと思います。被爆された方たちのほとんどの人がそう思っているのではないのでしょうか。普段、私たちが「きれいだ」と見ているものは、被爆された方たちにとって恐怖の対象となっているのです。それは、すごく悲しいことだと私は思います。なぜ、何の罪もない人が何十年経っても苦しまなければいけないのでしょうか。そんな辛く、悲しいことを繰り返し続けるにも、今の私たちにもできることがあると思います。このような被爆された方の思いを知り、立ち上げたのが「おるづるの旅プロジェクト」です。

プロジェクトでは私たちが中心となって私の住む町に岡田さんを招き、講演会を聞きました。演題は「平和と戦争」についてです。来てくださった300人くらいの人たちはどんな思いで岡田さんの話を聞いて、何を思ったのでしょうか。私は、「私たちが行動しなければ」と思いました。二度と戦争を繰り返さないためにも、行動しなければいけないのは被爆された方たちだけではないと思います。自分も平

和に関わっている。私が岡田さんの話を聞きそう思ったように、来てくださった中の一人でも多くの人が私と同じことを思ってくれたのならば、講演会を聞いてよかったと心から思います。勇気をふりしぼり伝えてくれたことを、私たちもしっかりと受けとめ、まだ戦争のことを知らない人たちに伝えていくことなど、考えればできることはたくさんあります。小さなことでも、行動していくことが大切なのです。

小さな行動でも、誰かが助かる一歩になればとてもうれしいです。子どもの私にできることは限られています。今回みたいに誰かに戦争のことを伝えることはできません。講演会、新聞などたくさんの方でたくさんの人に伝えていきたい。そしていつか、この世から戦争がなくなり、たくさんの人が笑顔になれることを目指したいと思います。何十年かかるかわからないけど、私は戦争がなくなること

を信じています。

報 文 芸

伊方俳句会

注連を縋^なふ老人囲む児の瞳
 上田 益男
 降る雪や音を引きずる救急車
 長野しづこ
 優美なる女^{ひと}の達筆寒見舞
 池田 君子
 暖冬に馴^なれし此の身に二度の雪
 明神つた子
 春立ちて淡き陽差しに心和^なぐ
 篠川 勝子
 二羽三羽ゆっくり旋回初鵪
 宇都宮睦子
 初光り風車を照らす伊方町
 田村 智子
 柚子湯入り心ゆたかに冬至か
 徳内 郁

初日の出^{おが}拝みて胸の熱くなり
 三好倭^し文子
 初詣身の引き締まる雪参道
 宇都宮法子
 曾孫の手すり合はせつつ雪だるま
 篠川 晴子
 初雪をふみしめ登る朝参り
 足利 敦子
 曾孫みる迄は生きる気四温晴
 門田 千枝
 同胞^{はらから}の寄り来る笑顔春惜しむ
 井上 良枝
 抱き来る夫の卒塔婆冬温し
 山崎 美喜
 海鳥の真白き翼梅ふふむ
 上田サチエ
 入り船のマストに翔び交ふ冬
 上田 幸香
 鷗
 携帯の向こうで招く鍋の湯気
 石井 義夫
 初売りの長閑^{のどか}に昼の漁師町
 渡辺日出子
 ふろふきの味噌甘口に冬至かな
 梶谷千代子
 冬満月浮かぶ黒島室筏
 松下 兼繁

瀬戸句会

青牧場遊牧の牛土を蹴る
 二宮寿賀子
 健やかに米寿を祝ぐ大旦^{あした}
 田中 初子
 吾が狭庭めじろの雌雄^{つがい}梅一輪
 上田 文男
 春疾^{はやて}風手提げ籠より白紙飛ぶ
 木戸 悦子
 夜半の豪雪自販機のみが起きており
 北 英次
 柚子風呂や玩具の金魚も泳ぎおり
 井上 幸子
 ふるさと恋し店頭の伊予柑に
 岡本 登
 とめどなき黒空眺め春を待つ
 結城 勵子
 彼岸会や句稿片手に四苦八苦
 加藤 慶子
 蜜柑届き里には友と吾が戸籍
 佐々木 煦
 紅葉狩少しときめく六十路かな
 佐々木 禮子
 な
 万両のとびきり赤いわが狭庭
 吉見 福子

北斗の会

大寒の太刀魚キラリ箱の中
 福岡 博
 書き綴ることに夢あり冬銀河
 大星 幸子
 父を恋う三机のみかん食いな
 鵜飼 丈純
 葉牡丹のかすかに老いて二月
 鵜飼 千恵子
 早春に千歳輪^{ちとせ}なげが優勝す
 佐々木サチ子
 裏山の雪の間に間に紅椿
 佐々木 忠雄
 露天風呂頭にかかるぼたん雪
 幸谷 幸子
 百余年の歴史の終る運動会
 幸谷 あい
 番匠^{ばんしやう}鼻やつと一輪椿咲く
 浅井ミドリ
 野良仕事出鼻をくじく朝しぐ
 伊藤 植美
 れ
 また風邪を引かぬよふにと玉
 子酒
 木枯や女^{さか}の性と米を研ぐ
 佐々木 順子
 井上 奈津子

あみだ句会

水仙の香も東に抱きけり
 藤村富士子
 独楽回し羽根つく子なき浦の春
 西上ミツヨ
 寒すばる岬に生れて岬に老い
 阿部ヨシ子
 お年玉孫からもらい目に涙
 中村千代香
 新婚の孫と電話の年始め
 池上 松子
 芋煮会句友集いて良い笑顔
 松本 光子
 老い二人小さき鍋の雑煮かな
 宮部タミエ
 久久に手に触れてみる初氷
 高月 仁
 岩めきし寺の大楠年新た
 木原 敬明
 去年^{こぞ}よりも下手かと老いの筆
 池上 馨
 始
 凍雲に干し大根のできあがる
 池井 為吉